

# 令和3年度 国の施策・予算に関する提案・要望 政府予算案(教育関連)

令和3年1月29日  
大阪府

※令和2年12月21日現在で国の各省庁からの情報により作成したものです。

≪予算等の措置状況欄≫ 金額上段:R3年度予算額 金額下段:R2年度予算額 [全]全国枠予算 [国]国費ベース [事]事業費ベース  
≪摘要欄≫ ○:ほぼ要望どおり措置等の見込み △:一部措置等される見込み ×:措置等されない見込み

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>新型コロナウイルス感染症対策にかかる緊急要望 (1)学校に対する人的支援等 ・スクールサポートスタッフ、学習支援員、加配教員等の人員配置 ・少人数学級編成のための法的整備及び財政措置</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○補習のための指導員等派遣事業 ・学習指導員等の配置 11,000人 [全]90億円の内数 ・スクール・サポート・スタッフの配置 9,600人 ([全]340億円の内数)  ○義務教育費国庫負担金 少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備 +744人 [全]1兆5,164億円の内数 ([全]1兆5,261億円の内数)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・補習のための指導員等派遣事業について令和3年度予算では、都道府県・政令都市負担分に対する臨時交付金による財政措置なし。</p>	△
<p>(2)学校に対する感染予防対策等への支援等 ・消毒物品供給にかかる制度の充実 ・学校における消毒・清掃業務委託への支援 ・給食食材キャンセル料への「学校臨時休業対策費補助金」の適用 ・給食無償化等への財政措置</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○感染症対策のための衛生環境整備支援事業 R2補正[全]256億円</p> <p>※令和2年度補正予算「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業(学校における感染症対策等支援)」において一部措置</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・学校臨時休業対策費補助金の令和2年4月以降の適用は実現していない。 ・新型コロナウイルス感染症による保護者負担軽減のため学校設置者が実施する給食費の無償化等助成制度に対する財源措置は実現していない</p>	△
<p>(3)ICT環境の整備等 ・「公立学校情報機器整備費補助金」の高等学校及び支援学校の高等部への補助対象の拡大 ・家庭に貸与するモバイルルーター等の費用及び通信費について財政措置の拡充 ・ICT支援員の配置充実への財政措置</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○GIGAスクールサポーターの配置促進事業 [全]10億円 ([全]105億円の内数)  ○GIGAスクールにおける学びの充実 ・「ICT活用教育アドバイザー」等による整備・活用推進 [全]4億円の内数 ・情報モラル教育推進事業 ([全]3億円の内数)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・小中学校においては、家庭に貸与するモバイルルーター等の費用及び通信費への財政措置の拡充については、実現していない。</p>	△
<p>(4)家計が急変した生徒への支援等 ・新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した生徒への支援及び専修学校への大学との同等の措置</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○困窮学生等に対する支援 R2補正[全]153億円 うち専修学校分2.6億円  ○大学等における遠隔授業の環境構築の加速による学修機会の確保 R2補正[全]100億円 うち専修学校分15.3億円</p>	△
<p>1. 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 (1)教職員の定数改善 ・新たな定数改善計画、教職員定数の一層の拡充及び財政措置</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○義務教育費国庫負担金 [全]1兆5,164億円 ([全]1兆5,261億円) 少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備 +744人  学校における働き方改革等 +2,397人 ・教員の持ちコマ数軽減による教育の質の向上 +2,000人 ・教育課題への対応のための基礎定数化関連 +397人 （発達障害などの障害のある児童生徒への通級指導の充実 +506人） （外国人児童生徒に対する日本語指導教育の充実 +90人） （初任者研修体制の充実 +11人） （基礎定数化に伴う定数減等 -210人）</p>	△
<p>(2)教員免許状の再取得要件の厳格化 ・わいせつ行為により懲戒免職処分を受けた者等が容易に免許状を再取得することができない仕組みの構築</p>	<p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・文部科学省より、「官報に掲載された教育職員免許状の失効・取上げ情報を検索できる「官報情報検索ツール」の検索可能な情報の期間を、従来の直近3年間から直近40年間に延長する」旨の文書が发出(10月)されたが、教員免許状の再取得要件の厳格化については、実現していない。</p>	×

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
(3) 私学助成を受ける幼稚園教諭にかかる処遇改善 ・給与改善以外の方法による人材確保の取組みの補助対象化	<p>◆概算要求の状況 &lt;文部科学省&gt; ○私立高等学校等経常費助成費等補助 ・一般補助 [全]860億円の内数 ([全]854億円の内数)</p> <p>◆予算項目以外の状況 ・給与改善以外の方法による人材確保の取組みの補助対象化については、実現していない。</p>	×
(4) 特別支援教育費補助金の充実 ・補助対象となる園の拡大	<p>◆概算要求の状況 &lt;文部科学省&gt; ○私立高等学校等経常費助成費等補助 ・特別補助 幼稚園等特別支援教育経費 [全]65億円 ([全]64億円)</p> <p>◆予算項目以外の状況 ・補助対象となる園の拡大については、実現していない。</p>	×
(5) 人権教育の推進 ・人権教育に関する施策への財源措置の拡充	<p>◆概算要求の状況 &lt;文部科学省&gt; ○人権教育開発事業 [全]0.35億円 ([全]0.5億円)</p>	△
(6) 学校図書館・公立図書館の充実 ・図書資料購入等にかかる財政支援の充実 ・司書教諭の定数措置、専門人材の配置拡充	<p>◆予算項目以外の状況 ・交付税措置の拡充については、現時点において十分な財源措置の実現に至っていない。 ・司書教諭の定数措置及び専門人材の配置の拡充にかかる要望は実現していない。</p>	△
(7) 文化等に関する教育の推進 ア 世界遺産「百舌鳥・古市古群」にかかる整備活用事業及び公有化事業に対する補助措置の充実 総合的な世界遺産特別法の制定 イ 文化財の継承、活用のための各種補助制度及び財源措置の充実	<p>◆予算措置の状況 &lt;文化庁&gt; ○文化財の確実な継承に向けた保存・活用の推進 [全]460億円 ([全]463億円) [全]386億円 ([全]395億円)</p> <p>・文化財の適切な修理等による継承・活用等</p> <p>◆予算項目以外の状況 ・補助基準の改善や対象範囲の拡大など制度の充実については、実現していない。</p>	△
(8) 学校給食、食育の充実 ・学校及び共同調理場の給食施設整備に対する十分な財源措置 ・栄養教諭を各校1名配置とする制度の拡充	<p>◆予算措置の状況 &lt;文部科学省&gt; ○公立学校施設の整備 [全]688億円の内数 ([全]2,057億円の内数)</p> <p>◆予算項目以外の状況 ・栄養教諭を各校1名配置とする制度の拡充については、実現していない。</p>	△
2. グローバルに活躍する人材の育成(英語教育の充実) ・小学校における専科指導のための加配教員の専門性に関する要件の緩和や免許制度の改善措置 ・外部検定受験に対する予算措置をはじめ、英語教育の推進にかかる施策に必要な財源措置	<p>◆予算措置の状況 &lt;文部科学省&gt; ○小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業 [全]4.1億円 ([全]3.8億円) ○補習等のための指導員等派遣事業 [全]90億円の内数 ([全]340億円の内数) ○教職員定数の改善 ・小学校英語専科指導のための加配定数 3,000人 (小学校英語教育の早期化・教科化)</p> <p>◆予算項目以外の状況 ・小学校における専科指導のための加配教員の免許要件の緩和や免許制度の改善については、実現していない。</p>	△
3. 家庭の経済状況や地理的条件への対応 (1) 私学助成の拡充 ・就学支援制度の拡充 ・都道府県独自の授業料支援事業への財源措置	<p>◆予算措置の状況 &lt;文部科学省&gt; ○私立高等学校授業料の実質無償化等 (高等学校等就学支援金、高等学校等就学支援事業費補助金) [全]4176.0億円 ([全]4281.4億円)</p> <p>◆予算項目以外の状況 ・都道府県独自の授業料支援事業への財源措置に係る要望は実現していない。</p>	△

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
(2) 就学援助制度の充実 ・就学援助制度の拡充 ・中学校夜間学級生徒及び学齢期を超えた帰国・渡日生徒も本制度の対象とする制度の拡充	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○要保護児童生徒援助費補助 [全]5.9億円 ([全]6.3億円)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・中学校夜間学級生徒及び学齢期を超えた帰国・渡日生徒を本制度の対象とする制度の拡充については、実現していない。</p>	△
(3) 私立中学校等修学支援実証事業の充実 ・恒久的な制度化及び充実、国調査結果のフィードバック ・補助対象要件や調査票の簡素化による保護者及び学校の負担軽減等	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○私立小中学校等に通う児童生徒への経済的支援に関する実証事業 [全]10億円 ([全]10億円)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・恒久的な制度化及び充実、国調査結果のフィードバックについては、実現していない。</p>	△
(4) 就学支援金制度の見直し ・対象範囲の拡大 ・所得要件の判定基準の見直し	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○私立高等学校授業料の実質無償化等 (高等学校等就学支援金) [全]4,169.1億円 ([全]4,275.8億円)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・修業年限を超過した者に対する支援については、実現していない。</p>	×
(5) 高校生等奨学給付金制度の見直し ・指定都市への税源移譲に伴う所得要件の判定基準の見直し ・家庭でのオンライン授業に係る通信費相当額の支給	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○高校生等奨学給付金(奨学のための給付金) [全]158.9億円 ・オンライン学習に必要な通信費相当額の増額(非課税世帯 +12,000円) ([全]136.1億円)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・指定都市への税源移譲に伴う所得要件の判定基準の見直しについては、実現していない。 ・通信費相当額の全額国庫負担については、実現していない。</p>	△
(6) 奨学施策の充実 ・給付型奨学金採用枠のさらなる拡充、採用方法の改善等 ・第一種(無利子)奨学金貸付枠の一層の拡大等の制度の充実	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○無利子奨学金の貸与基準を満たす希望者全員に対する貸与の確実な実施 ・事業費 無利子奨学金 [全]3,099億円 有利子奨学金 [全]6,832億円 ・貸与人員 無利子奨学金 50.9万人 有利子奨学金 76.5万人</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・第一種奨学金に適用されている所得連動返還型奨学金制度の第二種奨学金への適用拡大については、実現していない。</p>	△
(7) 高等教育の修学支援新制度(高等教育無償化)の推進 ・制度運用の改善 ・事務処理体制整備にかかる補助措置の令和3年度以降の継続	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;内閣府&gt; ○高等教育の修学支援新制度 [全]5,840億円の内数 ・授業料等減免制度の創設 ([全]5,823億円の内数)</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b> ・令和3年度の制度運用に係る改善案は示されていない。 ・事務処理体制整備に係る補助措置の継続については、示されていない。</p>	×
(8) 生活困窮家庭を中心とした学習支援施策の充実 ・就学援助率の高い学校への加配教員や支援人材の配置・充実等	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt; ○教職員定数の改善 ・貧困等に起因する学力課題の解消 50人</p> <p>○補習等のための指導員等派遣事業 [全]90億円の内数 ([全]340億円の内数)</p> <p>○地域と学校の連携・協働体制構築事業 [全]67.5億円 ([全]67.3億円)</p>	△

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>4. 多様なニーズに対応した教育機会の提供  (1) 支援を必要とする幼児児童生徒の教育環境の充実  ア 介助職員等の雇用のための財源措置  特別支援学級編制基準の改善、交流及び共同学習の指導充実のための財源措置  通級指導教室の基礎定数化の確実な実施</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;  ○切れ目ない支援体制整備充実事業 [全]24億円  ([全]19億円)  ・医療的ケアが必要な幼児児童生徒のための看護師配置 2,400人  ○教職員定数の改善 506人  ・基礎定数化関連 通級による指導</p> <hr/> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b>  ・特別支援学級編制基準の改善については、実現していない。</p>	△
<p>イ 看護師等の専門職種、特別支援教育コーディネーターの定数措置</p>	<p>◆<b>予算項目以外の状況</b>  ・看護師等の専門職種、特別支援教育コーディネーターの定数措置については、実現していない。</p>	×
<p>ウ 登下校中の医療的ケアのための看護師の配置にかかる更なる財政措置</p>	<p>◆<b>予算項目以外の状況</b>  ・登下校中車両に同乗する看護師については、切れ目ない支援体制整備充実事業により財政措置がされており、令和3年度予算(案)では配置数が2,100人から2,400人に拡充されたが、補助率は1/3から引き上げられていない。  ・車両については、特別支援教育就学奨励費により財源措置されているが、送迎の実態に見合う適切な財源措置は、実現していない。</p>	△
<p>エ 通学バスにかかる適切な財源措置</p>	<p>◆<b>予算項目以外の状況</b>  ・通学用スクールバスについては地方交付税により財源措置されているが、運行実態に見合う適切な財源措置は、実現していない。  ・新型コロナウイルス感染症対策での増車等費用については、補正予算等で計上されたものの、通常の運行実態の改善措置には至っていない。</p>	×
<p>オ 高等学校で学ぶ障がいのある生徒の教育環境にかかる適切な財源措置  高等学校等における特別支援学級設置にかかる法的整備及び必要な財源措置</p>	<p>◆<b>予算項目以外の状況</b>  ・高等学校で学ぶ障がいのある生徒のための施設設備の改修や人的配置などの財源措置については、実現していない。  ・高等学校等における特別支援学級設置について、学校教育法施行規則などの法的整備や財源措置については、実現していない。</p>	×
<p>(2) 日本語指導が必要な帰国・渡日児童生徒支援施策の充実  ・日本語指導加配教員等の増員配置に必要な財源措置</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;  ○外国人児童生徒等への教育の充実 [全]9.9億円  ([全]8.4億円)  ○教職員定数の改善 90人  ・外国人児童生徒に対する日本語指導教育の充実</p>	△
<p>5. 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等  (チームとしての学校指導体制支援の推進)  ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の定数措置等  ・SNS等を活用した相談体制の構築にかかる財政措置の維持・拡充  ・スクールロイヤーの継続的な活用のために必要な財政措置  ・地域連携担当教職員(仮称)の標準的な職としての法令上の位置づけ  ・「補習等のための指導員等派遣事業」の本年度の追加配当と次年度の十分な予算確保  ・中学校夜間学級として独自の位置づけが可能となる関連法令等の整備</p>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;  ○スクールカウンセラーの配置充実 [全]52.8億円  ([全]48.7億円)  ・全公立小中学校への配置 27,500校  ・いじめ・不登校対策のための重点配置 1,500校  ・貧困対策のための重点配置 1,400校  ・虐待対策のための重点配置 1,200校  ・教育支援センターの機能強化 250箇所  ・スーパーバイザーの配置 114人  ○スクールソーシャルワーカーの配置充実 [全]19.4億円  ([全]18.1億円)  ・全中学校区への配置 10,000中学校区  ・いじめ・不登校対策のための重点配置 1,500校  ・貧困対策のための重点配置 1,400校  ・虐待対策のための重点配置 1,500校  ・教育支援センターの機能強化 250箇所  ・スーパーバイザーの配置 114人  ○補習等のための指導員等派遣事業 [全]90億円の内数  ([全]340億円の内数)  ・中学校における部活動指導員の配置</p> <hr/> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b>  ・スクールカウンセラー等の定数措置や補助率の引き上げ、高等学校の部活動指導員補助制度の創設などについては、実現していない。  ・スクールカウンセラー等活用事業及びスクールソーシャルワーカー活用事業において、特別支援学校が配置目標にあげられていない。  ・地域連携担当教員(仮称)の標準的な職としての法令上の位置づけについては、実現していない。  ・中学校夜間学級として独自の位置づけが可能となる関連法令等の整備については、実現していない。</p>	△

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>6. ICT利活用のための基盤の整備 (ICT環境の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT環境整備に必要な財源措置の拡充</li> </ul>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○GIGAスクールにおける学びの充実 [全]4億円 ([全]3億円)</li> <li>・「ICT活用教育アドバイザー」等による整備・活用推進</li> <li>・情報モラル教育推進事業</li> <li>・児童生徒の情報活用能力の把握に関する調査研究</li> </ul> <p>○オンライン学習システム(CBTシステム)の全国展開、最先端技術、教育データの利活用推進 [全]7億円 ([全]25億円)</p>	○
<p>7. 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全の確保</p> <p>(1)児童生徒の生命・安全に関わる事業の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスベスト対策工事にかかる補助要件の緩和等及び技術的観点からの支援</li> <li>・学校施設の老朽化対応への財源措置</li> <li>・空調設置等の施設整備への財源措置及び補助要件の緩和等</li> </ul>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公立学校施設の整備 [全]688億円の内数 ([全]2,057億円の内数)</li> </ul> <p>-----</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスベスト対策工事にかかる小中学校、特別支援学校に対する補助要件の緩和、高等学校に対する財政支援措置の拡充については、実現していない。</li> </ul>	△
<p>(2)自然災害にかかる学校施設の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック塀の撤去等にかかる補助事業の要件の緩和、補助率の引上げ、補助対象の拡大等</li> <li>・施設の安全点検に要する経費に対する助成等</li> </ul>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公立学校施設の整備 [全]688億円の内数 ([全]2,057億円の内数)</li> </ul>	△
<p>(3)学校及び通学路等における安全管理体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や通学路における安全確保対策に必要な財源措置</li> </ul>	<p>◆<b>予算措置の状況</b> &lt;文部科学省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 [全]3.4億円 ([全]3.4億円)</li> </ul> <p>-----</p> <p>◆<b>予算項目以外の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校への警備員等の配置並びに防犯関連機器及び設備の設置に関する財源措置については、実現していない。</li> </ul>	△
<p>8. 現場重視の学校運営・地方教育行政の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県費負担教職員にかかる権限の市町村への移譲</li> <li>・県費負担教職員の給与等の負担等の中核市等への権限移譲に向けた検討</li> </ul>	<p>◆<b>予算項目以外の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県費負担教職員の給与等の負担、定数の決定及び学級編成基準の決定等にかかる中核市等への権限移譲については、引き続き国において検討中である。</li> </ul>	△